

他職種の考え知り、連携深めよう

対談

看護学生×薬学生

薬学生と看護学生は共に授業も多く、何かと忙しいのが現状で、同じ大学に薬学部と看護学部があっても交流を持つ機会はそれほど多くないのではないのでしょうか。今回は実習を終え、卒業を控えた看護学生団体IONの藤原怜峰さん(筑波大学医学群看護学類4年)、清水えりなさん(北里大学看護学部看護学科4年)の2人と、数年後に実務実習や就職活動を迎える日本薬学生連盟の中林拓己さん(東邦大学薬学部薬学科4年)、小倉由未佳さん(明治薬科大学薬学部生命創薬科学科1年)の2人がお互いの職業像について語り合いました(日本薬学生連盟2018年度広報統括理事=岩崎良太・明治薬科大学薬学部薬学科2年)



一番左から時計回りに藤原さん、清水さん、小倉さん、中林さん

医療の道を目指した理由

中林(薬) まず、日本薬学生連盟の紹介をさせていただくと、日本で唯一の全国規模の薬学生団体です。全国5支部に分かれて約900人で活動していて、今年で20周年を迎えます。交流イベントだけでなく啓発活動や学会参加、病院薬局企業の見学など薬学生のプラットフォームになるような活動、薬学生に新しい価値を提供する活動を行っています。

藤原(看) われわれ看護学生団体IONは、「つながる@ナース」をコンセプトに活動しています。看護学生は大学だけでなく、専門学校や短期大学が多く、なかなか学生同士のつながりが生まれないので、その中で学生同士のつながりを構築し、学生のうちから看護キャリアを考える活動を行っています。

中林(薬) イベントなどは開催したりしているのでしょうか。

藤原(看) イベントというよりは、講師を招いての講演会や勉強会を主にしています。今回のように他の学生団体と交流する機会を持ったりもしま

すね。

中林(薬) 清水さんは、なぜ看護の道に進もうと思ったのですか。

清水(看) 私は一度、違う大学を卒業しているのです。化学を専攻していたのですが、4年間勉強している中で自分にはあまり向いてないのかなと思うようになりました。就職活動の時期になったとき、せつかく化学を学んできたのだから、化学知識を生かしたいといういろいろ模索しました。一方で、所属していた研究室が透析系でしたので、医療関係に興味を持ち始めていた時期でもありました。最終的に、化学知識も生かせると考え、現在の大学の看護学部で学士編入しました。

中林(薬) 看護学部のお二人は、6年制薬学部と4年制薬学部の違いについてご存知ですか。

清水(看) よく分からないですね。

中林(薬) 6年制はいわゆる薬剤師養成課程で、4年制は薬剤師国家試験の受験資格がなく、製薬企業の研究部門や開発部門などに就職する人が多いです。

小倉(薬) 私は薬学部の4年制課程を選びました。もともと病院に行く機会が多く、医療従事者になりたいとっていて、実は看護学部と薬学科を両方受験しました。どちらにするかは最後まで迷っていたんですけど、そのときに人生で一番「まずい」と思った薬を処方されて、それが本当にまずくて、もっと患者さんが飲みやすいと思えるような薬を提供したいと考えるようになりました。

それがきっかけで、研究開発に携わるために看護学部や6年制薬学部でもなく、4年制薬学部へ入学することにしました。

藤原(看) 実は私も看護師ではなく、薬剤師を目指していた時期がありました。

中林(薬) そうだったんですね。最初は薬剤師、看護師とは違う目標で入学した人も、学んでいるうちにその

面白さに気づく人が多いのかなという印象です。清水さんのように、大学を卒業してから薬学部や看護学部などの医療系学部で再入学してくる人も増えてきていますね。

藤原(看) 他学部を志望していたという話ですが、だからこそ自分が進路として考えたことのある職種に理解があったり、その分野も勉強しようと思ったりするのかなと感じます。他に目指していた職種がきっかけとなり、将来的に連携がしやすくなることもあるのかなと思いました。

中林(薬) 高校生の頃は医師の仕事について調べていました。皆さんもドラマなどで医師がどんな仕事を実際にしているかイメージできると思うのですが、私がいま薬学生として学んでいる中で、将来医師が働く臨床現場でどのように薬学の知識を生かせるのかと想像をめぐらせることがあります。

薬剤師は積極的に提案を

清水(看) 今回のように、さまざまな団体の方と関わる中で面白いなど思っていることがあります。学生にも「薬学部っぽいな」とか「看護学部っ

ぽい」というように、学部や職種のカラーがあると思いませんか。たとえば、薬学部の学生は大人っぽいというか、



生薬に一意専心

わたしたちは
自然の恵みを大切に活かし
人々の健康と幸せを応援します!



安心・安全への取り組み

- 生薬資源の栽培化
資源の枯渇を防ぐために自社栽培を事業化。
- 種苗・栽培・加工管理
国内外の農家に協力を依頼し、原料を一元管理。
- 残留農薬の管理
管理農薬(有機塩素系・有機リン系・ピレスロイド系・カーバメート系・トリアゾール系など…452成分)

漢方薬の輸入・製造・販売を一貫して行う
漢方専門総合卸です

株式会社 **杉本天海堂**

〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町3番21号
[TEL] 06-6312-8425
[URL] <http://www.tochimoto.co.jp/>